

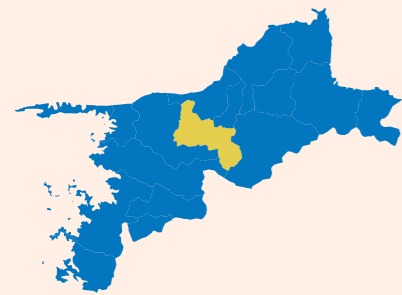


UCHIKO TOWN

人々のゆたかな暮らしが、風景に現れるまち。

内子町

Uchiko, Kitagun, Ehime



愛媛県のほぼ真ん中に位置する山あいの内子町。和蠟燭や大洲和紙といった伝統産業や、芝居小屋「内子座」をはじめとした独自の文化を現代に大切につなぐまち。その姿勢は暮らしにも現れ、町並みや村並みなど、人々の日々の営みが美しい風景をつくっている。若い世代の移住者が目立ち、小田地区や御祓（みそぎ）地区、石畳地区といった山深い場所で、地域の人たちと一緒に廃校や古民家を活用した新しいモノ・コトを生みだしている。

<https://www.town.uchiko.ehime.jp/site/ijyu/>

暮らす人たちが生みだす美しい風景も味わって～
(移住者の武藤さん)

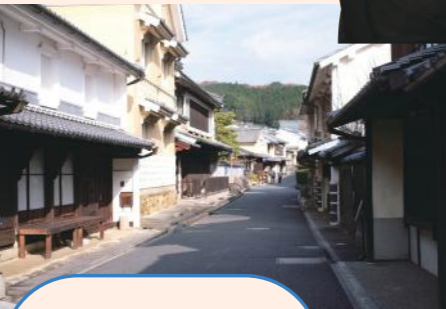


手作りの石窯で、自家製酵母パンを作っている週1販売の人気パン屋さん。



清流沿いにある「内子フレッシュパークからり」。果物、野菜、加工品など内子町の食のレベルの高さを知る県内屈指の人気「道の駅」。

移住を考える人は、伝統的な町並みにあるゲストハウスに泊まって、ディナーに古民家ドイツレストラン（移住者のデルクセン夫妻が営む）を利用するのが「人気コース」。



まちと「外」をつなぐゲストハウスをやっています
(移住者の山内さん)



伝統的な町並みには、和蠟燭屋、パン屋、ランプ屋、カフェなどの店舗が。子どもたちの通学路でもある。



内子町の中心地の商店街。山あいにあるとは思えないほどのスケール感。

中心地にある coworking space。内子町には、地域活動の拠点になるワークスポットが点在。



田畑を見下ろすように人家がある。庭や道で花を育てる人が多い。

大瀬郵便局は世襲制で現在6代目。局長は落語家としても活動中
(大瀬郵便局長の城戸さん)



大江健三郎のふるさとで知られる内子町大瀬・成留屋地区。山深い所に立派な町並みがあるのも内子の特徴。



無人販売所の「カキ小屋」
(牡蠣じゃなくて柿!)



ようこそ「どい書店」へ!



里山的美観と夕景を一望できる、野村地区の「夕陽の丘」。のんびりとつろげる展望台もある。



若者の移住者が相次ぐ小田地区。そのキーマンが移住者の岡山さん(写真左)



地元民にも愛される、小田地区の名物「たらいうどん」



里山エリアにある屋根付き橋。風情のある橋が里山の景色に溶け込む



ここは里山がイキイキしています。移住者同士のつながりも深いですよ
(移住者の熊野さん(左)と小山田さん)



「折り紙自販機」も探してみよう
(「折り紙自販機」仕掛け人の大森さん(左))



炭焼きや米作り、花植えなど里山の景観づくりに尽くす上岡さん。住居や農作業の相談にも乗ってくれる、移住者にとって頼れる存在。
(地元の上岡さん)



個性的な店がそろった御祓(みそぎ)地区の新しい名所「みそぎの里」は、閉校の小学校を活用。